

17 給食の残さ減量化に向けて

厚木市では、学校給食の食べ残し（残さ）の減量化に向けて様々な取組を行っています。

（1）給食の食べ残し量

	学 期	令和5年度		令和6年度	
		全体	1人当たり	全体	1人当たり
小学校	1学期	25,674.8kg	約 2.45 kg	27,563.3kg	約 2.70 kg
	2学期	31,012.3kg	約 2.96 kg	29,300.7kg	約 2.87 kg
	3学期	16,181.0kg	約 1.54 kg	13,634.4kg	約 1.34 kg
中学校	1学期	17,505.2kg	約 3.13 kg	15,507.3kg	約 2.81 kg
	2学期	20,826.7kg	約 3.72 kg	19,167.6kg	約 3.47 kg
	3学期	9,002.7kg	約 1.61 kg	7,450.8kg	約 1.35 kg

（2）食べ残しを減らす取り組み

食べ残しの理由は、食べられる量の個人差など、こどもたちによって様々ですが、理由の1つに「好き嫌い」が挙げられます。特に野菜、豆類などの献立は食べ残しが多くなる傾向があります。

調理時に味付けや調理方法を工夫したり、給食時間に担任や栄養士による食育の充実を図るなど、食べ残しを減らすために、教育委員会、学校、栄養士が一丸となって取り組んでいます。